

「東日本大震災 学童保育募金」 「平成二八年熊本地震 学童保育支援募金」 ご協力をお願い

二〇一六年二月 全国学童保育連絡協議会

東日本大震災と原発事故から五年八か月が経過しました。また、二〇一六年四月、熊本地震が発生しました。学童保育においては、保護者・指導員・行政関係者などの努力により、多くの施設が再開され（原発事故による避難指示区域等を除く）、子どもたちの放課後や長期休業中の生活を守り、働きながら子育てをする家庭を支えています。全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）はこれまで、国と自治体に、緊急に求められる支援とともに、被災した地域の学童保育が本来の役割を果たすことができるよう、制度・施策の抜本的な拡充・確立を求めてきました。また、被災した地域の学童保育関係者や行政とも相談しつつ、つぎのような取り組みを行ってまいりました。

- ① 学童保育施設の再建への支援
- ② 学童保育に必要な備品等への支援
- ③ 運営費への補助
- ④ 研修・相談活動など指導員への支援

⑤ 放射線被害から子どもたちを守るために必要な方策への支援

⑥ 学童保育の復旧・復興・拡充を支える体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

これらの活動を支えるうえで、二〇一一年三月と二〇一六年五月に全国の学童保育関係者に呼びかけた募金が大きな力を発揮しています。

現在までに全国連協に寄せられた募金は、「東日本大震災 学童保育募金」に五二二三万八八九五円、「平成二八年熊本地震 学童保育支援募金」は二〇五万八〇七四円になりました（二〇一六年一〇月三十一日現在）。

なお、二〇一六年一〇月二十九日、三〇日に開催された第五一回全国学童保育研究会でも、多くの方々から募金にご協力いただきました。あらためて、ご協力くださった全国各地の皆さんに心から御礼申しあげます。

被災した地域の復旧・復興に向けた努力を支える息の長い取り組みが、これからも求められています。全国の学童保育関係者の皆さん、ぜひ、状況をご賢察いただき、被災した地域の指導員と保護者をはじめ、子どもたちの安全と安心を保障する学童保育づくりのための募金に、さらなるご協力をお願い申し上げます。

*「平成二八年熊本地震 学童保育支援募金」にお寄せいただいた募金は、熊本県・大分県の学童保育連絡協議会それぞれに、必要とされる額をお届けします（なお、最終的に募金残高が生じた場合には、「東日本大震災 学童保育募金」に繰り入れさせていただきます）。

平成28年熊本地震 学童保育支援募金の振込先

- ・みずほ銀行（銀行コード：0001）
- ・本郷支店（店番：075）
- ・普通預金 4022450
- ・名義：全国学童保育連絡協議会

東日本大震災 学童保育募金の振込先

- ・三菱東京UFJ銀行（銀行コード：0005）
- ・本郷支店（店番：351）
- ・普通預金 0012273
- ・名義：全国学童保育連絡協議会 代表 きだ やすお 木田保男